

# 数学

広島大学

ⅡB型

(前期日程)

## <全体分析>

試験時間

120 分

解答問題数

4 題

### 解答形式

記述形式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

### 出題の特徴

誘導的な小問が多く解きやすい。

### その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

例年に比べ、融合問題が減少した。

Ⅲ型との共通問題、同内容の出題が1題ずつあった。

## <大問分析>

| 問題番号 | 出題分野・テーマ      | 範囲     | コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)            | 難易度 |
|------|---------------|--------|-------------------------------------|-----|
| [1]  | 微分法・積分法       | Ⅱ      | 2つの放物線と共通な接線<br>2つの放物線とy軸で囲まれた図形の面積 | 標準  |
| [2]  | 図形と計量<br>三角関数 | I<br>Ⅱ | 三角形と長方形の面積<br>三角関数の合成と最大            | 標準  |
| [3]  | 確率            | A      | さいころと硬貨を投げたときの確率<br>条件付き確率          | 標準  |
| [4]  | 数列            | B      | 偶奇分けで定義された数列の一般項と和                  | 標準  |

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

標準的な問題が中心であるので、各分野の基本事項を身につけ、典型的な問題については誘導がなくても解けるようにしておこう。融合問題も多く出題されているため、単元を超えた問題演習にも取り組もう。また、計算が煩雑な問題もあるため、普段から最後まで計算しつくすようにしておこう。